

水稲ヘリ防除 本格スタート



出穂時期を迎え、JA筑紫無人ヘリ防除作業部会が行う水稲の病害虫防除作業が8月5日から始まりました。

2021年度水稲防除作業の依頼数は1810件、面積は約238haを予定。出穂状況や病害虫の発生状況、天候などに十分注意しながら9月中旬まで作業を行っています。

部会は、JA管内の組合員10名で構成。無人ヘリ2機による米・麦・大豆の病害虫防除活動に取り組みます。毎年7月下旬に事前検討会を行い、安全運行を心がけ、農薬を散布するヘリの高さや風向きに十分注意を払っています。

JA農産課の担当職員は「組合員のために安全を確保しながら確実な防除に努めてほしいです」と話しました。

JASSで農産物PR・スタンドでマルシェ開催



JA筑紫は、福岡ライフエナジー(株)と共同で8月23～27日の5日間、「野菜マルシェ」を開きました。

利用者にJAとライフエナジーのことを知ってもらうため、ガソリンスタンドで野菜マルシェを開き、相乗効果を図ろうと企画。

期間中、春日市のJASS—PORT春日で、アスパラガスやオクラ、ピーマンなど地元で穫れた新鮮な農産物の詰合せを1袋100円で販売。また、2000円以上給油をした利用者を対象に、抽選でレシートに「当たり」を発券し、詰合せ1袋をプレゼントしました。利用者は「新鮮な農産物を手に取りやすい価格で購入できて嬉しいです」と笑顔で話しました。

JASSの渡辺和也店長は「この機会にJAとライフエナジーのことを知ってもらい、今後も利用してほしいです」と話しました。